



医療法人社団 海仁
理事長 海谷 忠良

明けましておめでとうございます。

昨年2月のロシアによるウクライナ軍事侵攻、7月の安倍晋三元首相の銃撃事件は、世界に大きな衝撃を与え、国内では記録的な円安、急激な物価上昇に人々の生活が脅かされております。今年の干支は「卯」です。その跳び姿から「飛躍」「向上」を象徴しております。「卯」のようにこの困難を乗り越え新しい挑戦をしまっている所存です。

昨年は、脚の治療の為、長期療養期間をいただき、患者様には多大なるご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。また、多くのご協力をいただきありがとうございました。

その中で、昨年末には、「海谷眼科院長交代」という大改革を行いました。新しい組織体制で、今の時代に応じた、最良の医療を提供すべく取り組んでいくと共に、開院以来、海仁グループが追求する「患者様主体の医療」の実現に向け、理事長として職責を全うする所存です。より一層のご指導ご鞭達を賜りますようお願い申し上げます。1

Eye Rebornプロジェクトの成果

①「待ち時間」に対する改善

昨年は海谷眼科待合表示システムの全面改良、院内改修工事にて検査室、待合室を増やし、スムーズな診療体制を整えました。まだまだ待ち時間に対するご指摘をいただき猛省しておりますが、本年はさらなる改善に取り組んでまいります。

②海谷眼科に「視覚リハビリ室」の新設

患者様がより豊かな人生を送れるような視覚リハビリを3施設が連携し提供してまいります。

また昨年11月には、ブラインドサッカー大会『第1回海谷眼科杯』を実施し、スポンサーをしている「FCコレチーボ静岡」が優勝いたしました。視覚障害者の方々の活躍の場が少しでも広がるよう支援を継続してまいります。

③専門技術の導入

- ・ドライアイへの治療機器導入「マイボーム腺治療(IPL)」
- ・小児近視治療「オルソケラトロジー」導入準備

地域医療連携の輪

今後は海仁グループ内だけではなく、地域医療機関との連携の輪をより広げ、患者様へ最適なより良い医療を受けていただける体制づくりをしまっている所存です。



海谷眼科

院長 海谷 亮子



明けましておめでとうございます。

私は昨年12月に海谷眼科の院長に就任したばかりのため皆様方へのご挨拶も初めてとなります。そこで新年のご挨拶と新任の院長としてのご挨拶をさせていただきます。

前院長には、医療法人の理事長として今後も組織全体の運営・経営の指導を中心に関わっていただきながら、私が院長として意志を引き継ぎ前院長が追求し続けた患者様主体の医療を職員とともに実践していく所存です。

皆様からの熱いご指導ご鞭撻どうかよろしくお願いたします。

患者様一人ひとりに寄り添った医療を

昨年1年間で、延べ約7万人の患者様が海谷眼科にご受診いただいております。県内外から多くの患者様にご来院いただいておりますが、浜松市の人口が約80万人ほどですので、浜松市の1割近い患者様の目の健康を我々が担っていると実感しております。

その中で、海谷眼科としては気軽にご相談していただける「かかりつけ医」としての使命はもちろんのことですが、県西部の総合眼科として最先端の医療機器技術を駆使しながら様々な患者様の生活の質を少しでも高めたり、より豊かな人生を謳歌できるような情報発信など、患者様一人ひとりに寄り添った医療展開を目指して取り組んでいく方針です。

新たな取り組み

①白内障手術装置の導入

昨年11月から術中イメージガイダンスシステムを導入し、白内障手術後の見え方の質を今まで以上に追求した手術を開始しております。

②専門技術の導入

昨年、マイボーム腺機能不全が原因によるドライアイに対する治療を導入しました。

コロナ禍で増大している小児の近視を治療する「オルソケラトロジー」も導入予定です。

昨今のガソリン価格や原材料価格の急騰により診療を行う為の光熱費、手術の為の資材費までもが急騰し、より良いものの選択がしづらい環境となってきております。

その中でも、小児から高齢者まで幅広い年代の方々を対象に、今の時代に対応した医療の実現に向けて、より良いものを選びすぐりながら積極的に導入していく予定です。

患者様とともに病気に立ち向かう覚悟

今年の干支はうさぎです。「うさぎの上り坂」という言葉は、うさぎが上り坂を登るのが得意であることから、持ち前の力を存分に発揮できることの例えであったり、物事が良い条件に恵まれ早く進むといった意味があります。私たちが患者様とともに立ち向かっていく疾患や治療にはまだまだ困難な長い上り坂がありますが、うさぎの上り坂のように職員一人ひとりが力を存分に発揮し、各疾患のエキスパートの先生方のお力もお借りしながら、患者様の病状が少しでも緩和されるように取り組んでまいります。

前院長である海谷理事長は、「道半ば」という言葉が大好きです。私も「まだまだやれることはある」という姿勢を忘れず、これから色々なことを学び、患者様とともに病気に立ち向かっていく覚悟でございます。

2 本年もどうぞよろしくお願いいたします。



みどり台海谷眼科
院長 湯口 琢磨



明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、晴れやかなお気持ちで新年を迎えられたことと思います。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

みどり台海谷眼科は平成19年に、現在の和合町に移転開業いたしました。この春で16周年を迎えます。高台地区の患者様を中心に、西区から北区、さらには渥美半島、もしくは新城といった遠方の患者様にもご利用いただいております。誠にありがとうございます。

糖尿病網膜症疾患の診断・治療

当院では、主に私の一番の専門であります糖尿病網膜症の診断や治療に力を入れてまいりました。特に内科の先生方との連携を持ってチームで担当できるようにしております。

また高度な手術におきましては、海谷眼科と密に連携をとりまして、皆様方に良い視機能を与えるような手術を心がけてまいりました。



新たな取り組み

①診療時間の変更

昨年はコロナ禍ではありましたが、延べ人数として3万人の患者様に来院していただきました。外来の混雑緩和の為、奇数週の金曜日の午後の外来を始めました。外来を増やしたことにより、余裕のある診療を行うことができました。

②WEB予約の導入

スマートフォンから簡単に予約ができるWEB予約を始めました。患者様がどんな時間でも予約をすることができ、特に働き盛りの方、若い方々に大変好評を得ました。今年はWEB予約を含めた予約システムをさらに改良して、皆様方に手軽に受診していただけるような眼科作りをしたいと思っております。



WEB予約

初診の方を対象にWEB予約を受け付けております

③コロナワクチンの個別接種

浜松市内の眼科で個別接種を行っているところは当院を含めて2件しかございませんが、高台・和合地区の患者様のみならず地域の皆様、さらには市のホームページを見て来られる患者様が多くおられました。こうした形でも少しでも地域医療に貢献できればと思っております。

患者様に寄り添った眼科医療を

今年も皆様のかかりつけ眼科として、患者様が安心・安全に、そして信頼して受診していただける眼科作りを行ってまいります。そして、地域医療機関、海谷眼科との緻密な連携により、患者様お一人おひとりの病状に寄り添った、的確な眼科医療を実践してまいります。

最後に皆様方のご多幸を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。



かけ川海谷眼科
院長 大城 三和子



明けましておめでとうございます。2023年うさぎの年になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。私は昨年12月12日に初孫が生まれ、楽しく健やかな新年を迎えております。

海仁グループでは、海谷眼科において海谷忠良理事長が院長を退任、海谷亮子先生が新院長に就任されました。海谷眼科、みどり台海谷眼科、海仁緑内障センターと共に協力して眼科医療のため最善を尽くしてまいりますので宜しくお願いいたします。

最新機器の導入

当院は、本年開院35周年を迎えます。また2019年の新築移転から5年目に入り、診療の質向上のために、新しく機械を導入しましたのでご紹介いたします。



●眼底三次元画像解析装置

網膜、視神経の断層画像を撮影

●スペキュラーマイクロスコープ

角膜疾患や手術前後の角膜内皮細胞を測定

●画像ファイリングシステム

検査データをコンピュータに取り込み、画像を元に診断、患者様へ説明

●レーザー光凝固装置

糖尿病網膜症や網膜裂孔等の網膜の治療、眼圧下降の治療

最新機器の導入

●フェムトセカンド・レーザー白内障手術装置

- ・白内障手術での前囊切開と核分割をレーザーで行う機器
- ・前囊を正円に切開し、眼内レンズを中心に固定することでレンズの傾きを抑制
- ・白内障手術時の超音波のエネルギーを抑え、より安全な手術を実現
- ・多焦点眼内レンズや角膜内皮の少ない方など難治性の白内障手術に使用



LenSx®(レンズエックス)

専門性の高い医療の提供

総合眼科として白内障、緑内障、網膜硝子体・角膜疾患等総合的な治療を継続してまいります。特に白内障手術は、現在では術後の見え方の質が求められております。より広範囲な視力を得ることが出来る多焦点眼内レンズを積極的に取り入れております。

海仁グループ内での連携の他、東京医科大学の先生方のご協力により専門性の高い医療を提供してまいります。特にぶどう膜炎の外来においては、大学病院で受けられるような高度な治療を行ってまいります。

当院では、海仁の理念に基づき、医師・職員全員で患者様のためにより良い医療を提供するよう頑張っておりますので、本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

